

ユーザーマニュアル

JP



目次

| | |
|--------------------|----|
| 概要 | 3 |
| モデル | 3 |
| パッケージ内容 | 3 |
| 製品説明 | 4 |
| 左ペダルと右ペダルの見分け方 | 5 |
| 警告 | 5 |
| バイクカテゴリー | 6 |
| 取り付け | 6 |
| クリートの取り付け | 10 |
| 解放値調整 | 11 |
| 電源を入れる | 12 |
| アクティベーション | 13 |
| トレーニング機器とのペアリング | 13 |
| クランクアーム長 | 14 |
| 手動および自動キャリブレーション | 15 |
| 初めて使用する | 16 |
| バッテリー充電 | 16 |
| 片側から両側へ | 18 |
| ペダルの取り外し | 18 |
| ペダルの再装着（バイク間で交換する） | 19 |
| センサーのLED動作 | 19 |
| サービス | 19 |
| 予備部品 | 21 |
| スタックの高さ | 22 |
| 技術的特徴 | 22 |
| ファヴェロ・エレクトロニクス | 24 |
| 保証 | 24 |
| 著作権 | 24 |

1. 概要

製品を使用するには、App StoreとGoogle Play Storeで無料で入手できるFavero Assiomaアプリをインストールする必要があります。

初めて本製品を使用する場合は、インストールに必要なすべての手順が記載されたインタラクティブなクイックスタートガイドをアプリでご覧いただけます。

ただし、Assioma PRO MXを正しくお使いいただくために、このマニュアルをよくお読みください。

2. モデル

ASSIOMA PRO MX-2 アートだ。773-10-02

左右にパワーセンサーを備えたMTB用ペダル。

ASSIOMA PRO MX-1 アートだ。773-10-01

パワーセンサー付き左MTBペダル。

パワーセンサーなしの右MTBペダル。

3. パッケージ内容

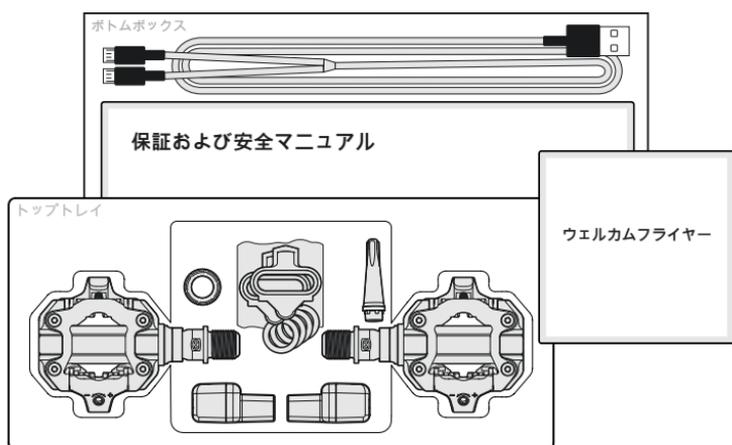


図1

Assioma PRO MX-2

両側センサー付きパワーメーター (773-10-02)

マイクロUSB2ウェイ充電ケーブル1本

2 磁気コネクター

MTB対応SPD®クリート

4 ワッシャー

グリスアップ工具キット

保証と安全マニュアル

歓迎チラシ

Assioma PRO MX-1

左側のみセンサー付きパワーメーター (773-10-01)

マイクロUSB2ウェイ充電ケーブル1本

1 磁気コネクター

MTB対応SPD®クリート

4 ワッシャー

グリスアップ工具キット

保証と安全マニュアル

歓迎チラシ

4. 製品説明

Assioma PRO MXは、ペダルストローク中にペダルにかかる力を測定するセンサーを備えたクリップレスペダルです。

Assioma PRO MXは、以下の分野で使用されるように設計されています：

- マウンテンバイク (MTB)
- グラベル (GR)
- シクロクロス (CX)
- クロスカントリー (XC)

ケイデンス計測の機能を備え、ペダルストローク中の出力をリアルタイムで計算し、ペアリングしたサイクルコンピューターやアプリに送信します。

充電式バッテリーを搭載し、最低60時間の作動を保証します。

Assioma PRO MXは、すべての電子部品と充電式バッテリーがスピンドル内に収納されているため、水、泥、埃の浸入に強い設計です (IP67)。

Assioma PRO MXは、ANT+とBluetoothの両方のテクノロジーを搭載し、外部機器との相互接続とデータ転送を行います。

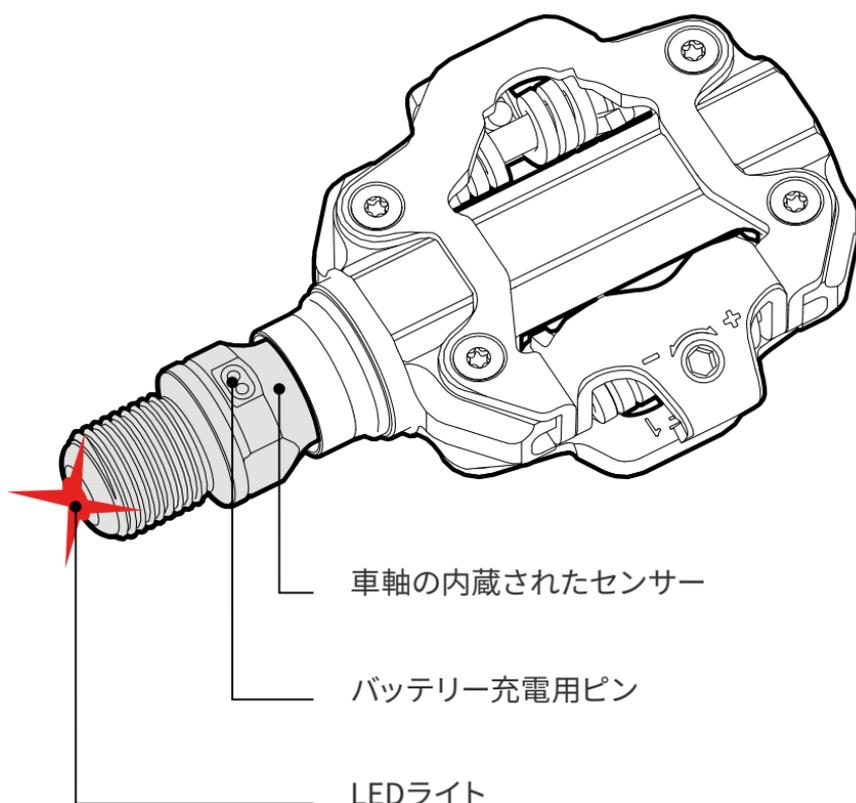


図2

5. 左ペダルと右ペダルの見分け方

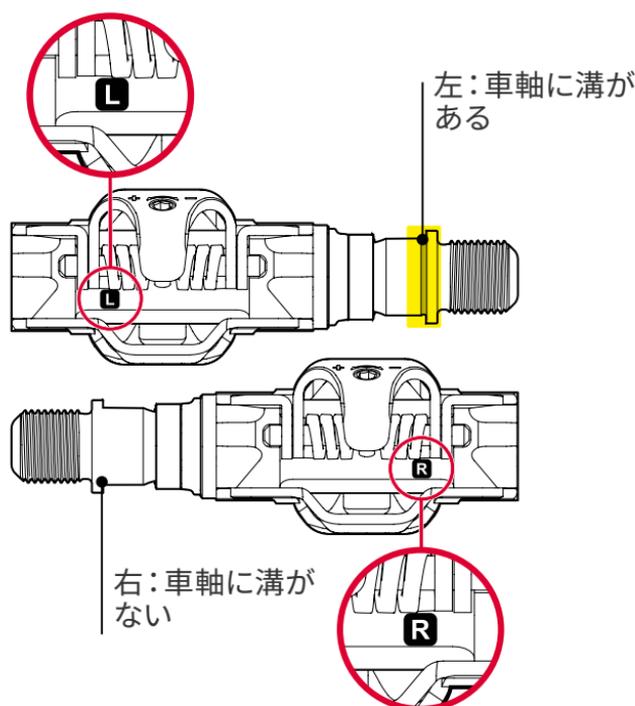


図3

左ペダルとスピンドル

- 左のペダルには、クリップレス・システムの片側の内側に「L」と刻印されています。
- 左のスピンドルにはねじ山の近くに溝が刻まれています。

右ペダルとスピンドル

- 右ペダルは、クリップレスシステムの片側内側に「R」と刻印されています。
- 右のスピンドルは左のスピンドルと異なり、ねじ山の近くに丸い溝がありません。

6. 警告

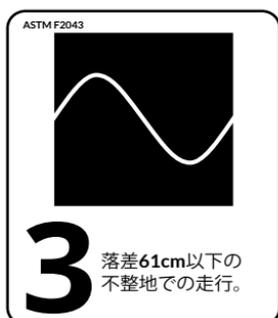
 製品を設置する前に、以下の取扱説明書および箱の中に入っている保証書と安全説明書をよくお読みください。

誤った取り付けや不適切な使用は事故の原因となります。

製品の取り付けに不安がある場合は、専門の整備士に依頼することをお勧めします。

乗り始める前に、必ずペダルから靴をはずすことができるか確認してください。

7. バイクカテゴリー



Assioma PRO MXは、カテゴリー3 (ASTM F2043規格) までの経路用に設計されています。

安全規格DIN EN ISO 4210に適合しています。

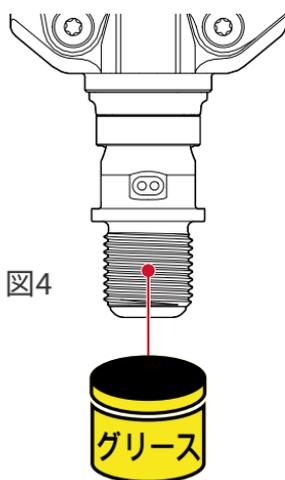
8. 取り付け

ASSIOMA PRO MXは、標準的なボールベアリングに比べ、はるかに高い負荷容量を提供するニードルローラーベアリングを使用しています。

そのためペダルにわずかな遊びがありますが、これは製品上問題ありません。

1. スレッドグリース

取り外しを容易にするため、アクスルのスレッドにリチウムグリースを薄く塗ってください。



2. ペダルと自転車のチェーン、ペダルとフレームの距離をチェックする

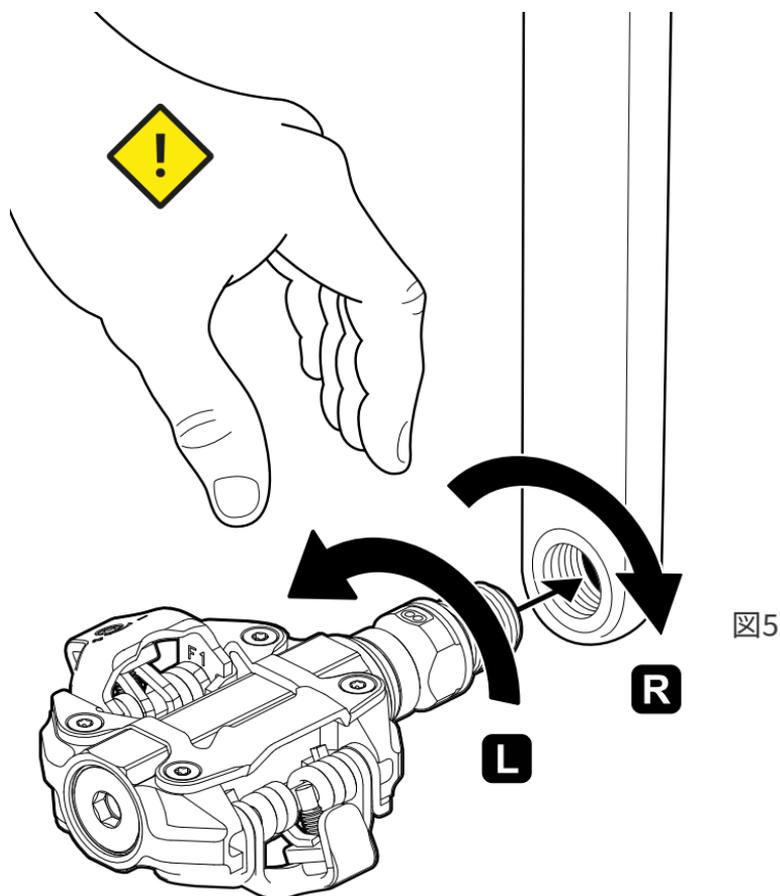
製品を正しく取り付けるには、スピンドルキャップと自転車チェーン、スピンドルキャップとフレームの間に十分なスペースを確保することが重要です。

次の手順の通りに取り付けしてください。

1. スピンドルが完全に挿入されるまで、手動でクランクアームにねじ込む。

図5参照

左ペダル (L) を反時計回りに回す 右ペダル (R) を時計回りに回す

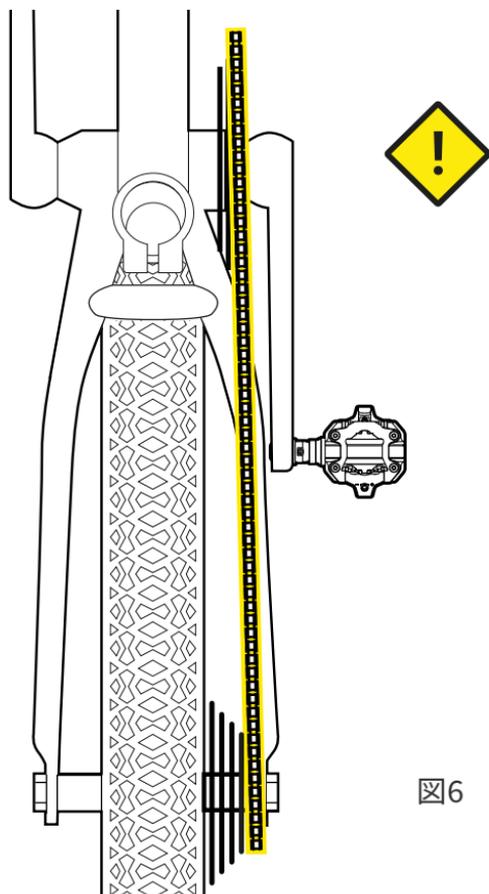


⚠ この操作は、工具を使わずに手動で行ってください。



2. チェーンを最も大きな一番外側のチェーンリングと、最も小さなカセットスプロケットにシフトしてください。

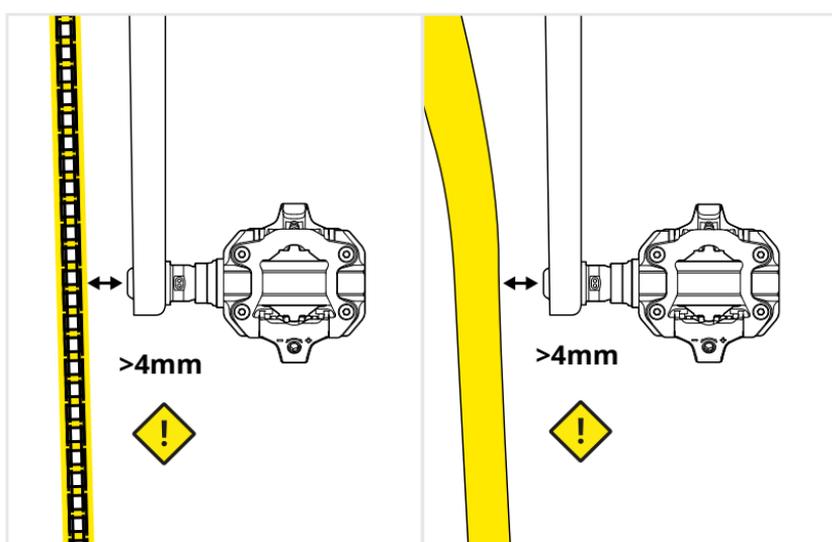
図6参照



3. 干渉を避けるために距離を確認する

- 静止しているときは、クランク・アームを手動で完全に回転するまで回す。
- スピンドル・キャップは、自転車チェーンとフレームの両方から4mm以上離れていなければならない。
- クランクブーツを使う場合は、自転車のチェーンやリアトライアングルに干渉しないように注意する。

図7を参照。



距離が4mm未満の場合は、ワッシャー (A1、A2) を1枚または2枚使用してください。

Favero Electronicsが提供するワッシャーのみを使用してください。

図8を参照。

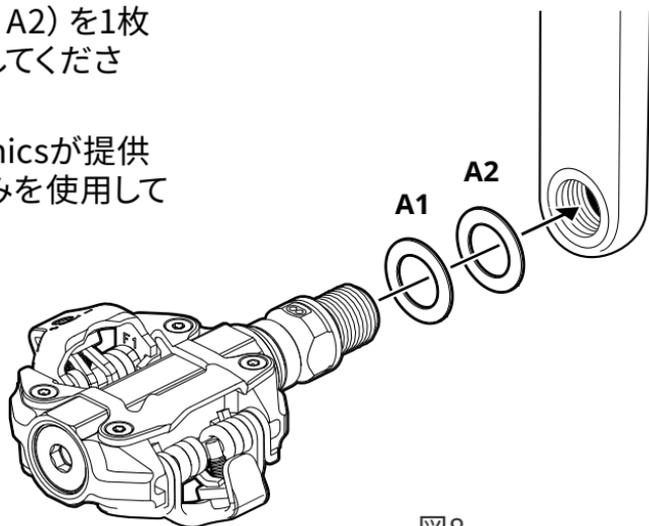


図8

3. クランクアームの締め付け

トルクレンチで30~40Nmの力で締めてください。

左ペダル (L) は反時計回り、右ペダル (R) は時計回りにねじ込んでください。

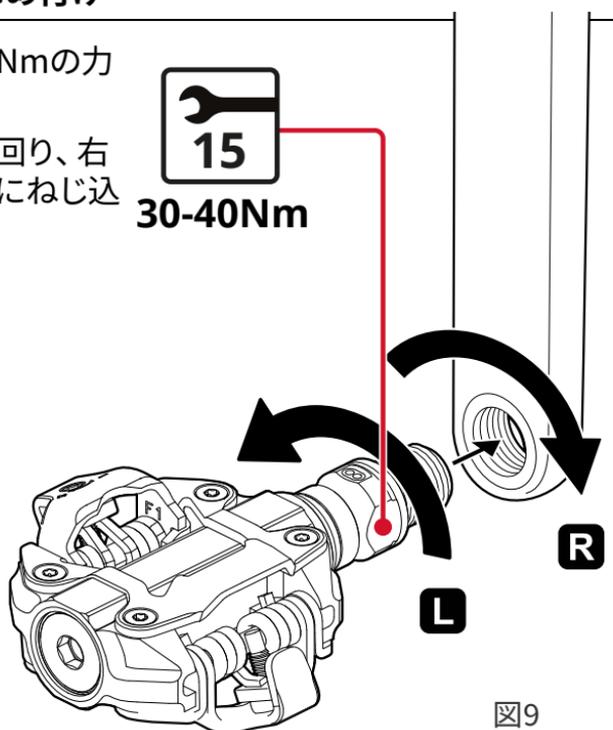
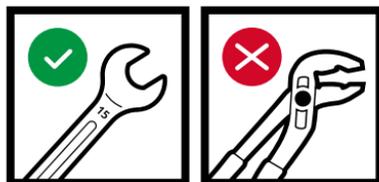


図9

- ⚠ 15mmのオープンエンドレンチを使用する。
スパナやアジャスタブル・レンチは使わないこと。



- ⚠ 使用前にペダルが正しく締め付けられていることを確認してください。

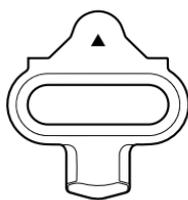
箱の中に入っている保証書とセキュリティ・マニュアルに記載されている情報をよくお読みください。

9. クリートの取り付け

付属のクリート (SPD®対応) またはシマノ純正クリートSM-SH51のみを使用すること。

必要に応じてクリートを正しく調整し、取り付けボルトを4~6Nmのトルクで締める。

フロント



取付ボルト

A

クリートアダプター

B

クリート

C

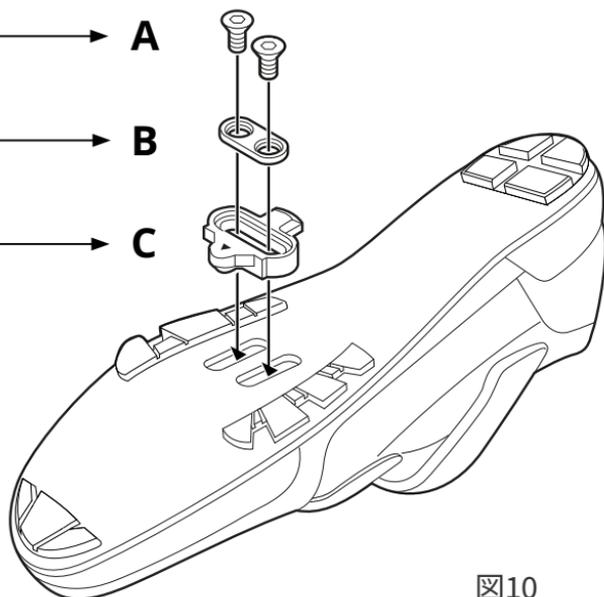


図10

⚠ 他のタイプのクリートを使用すると、ASSIOMA PRO MXには適切でない場合があります。製品に損傷を与える可能性があり、保証が無効になります。

クリートを固定するには、付属の取り付けボルトを使用してください。

締め付けトルク：**4-6 Nm**

⚠ クリートの状態を定期的にチェックしてください

- 取り付けボルトをねじ込む穴が損傷/摩耗していないか確認する
- クリートがシューズにしっかりと固定されていることを確認する。

保証書および安全マニュアルに記載されている情報をよくお読みください。

10. 解放値調整

3mmの六角レンチでスプリングの張力を調整する。

- ⚠ ボールエンド六角キーは使わないこと。



I調整ボルトの位置やクリック数で調整レベルを確認できます。

- ⚠ ペダリングを始める前に、何度かシューズのクリップを外してみ、ペダルスプリングのリリース力が適切であることを確認してください。

リリース・テンションが緩すぎると、ペダルが不意に外れることがあります。

逆にきつすぎると、必要なときに靴をはずすことができないかもしれない。

どちらの状態も事故を引き起こし、物や人に損害を与える可能性があります。

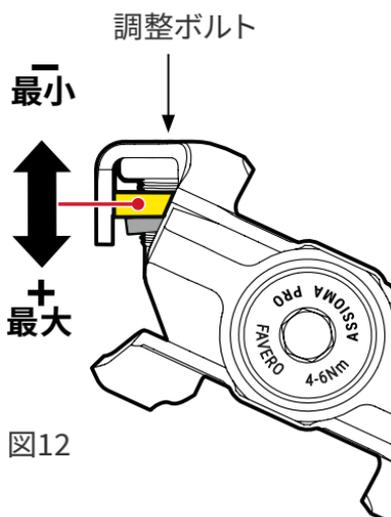
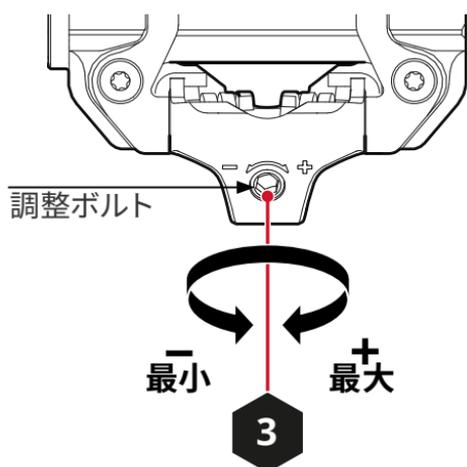


図12

クリップアウトの正しい方向は、外側にひねることです。

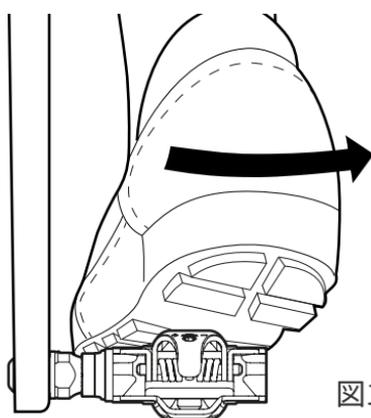
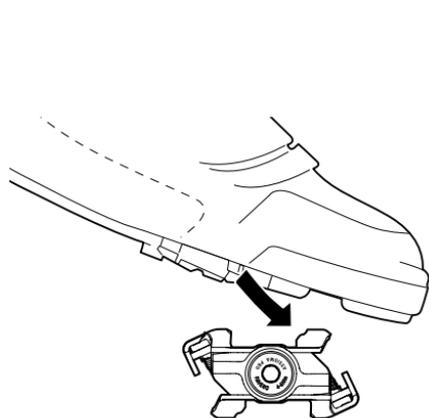


図13

11. 電源を入れる

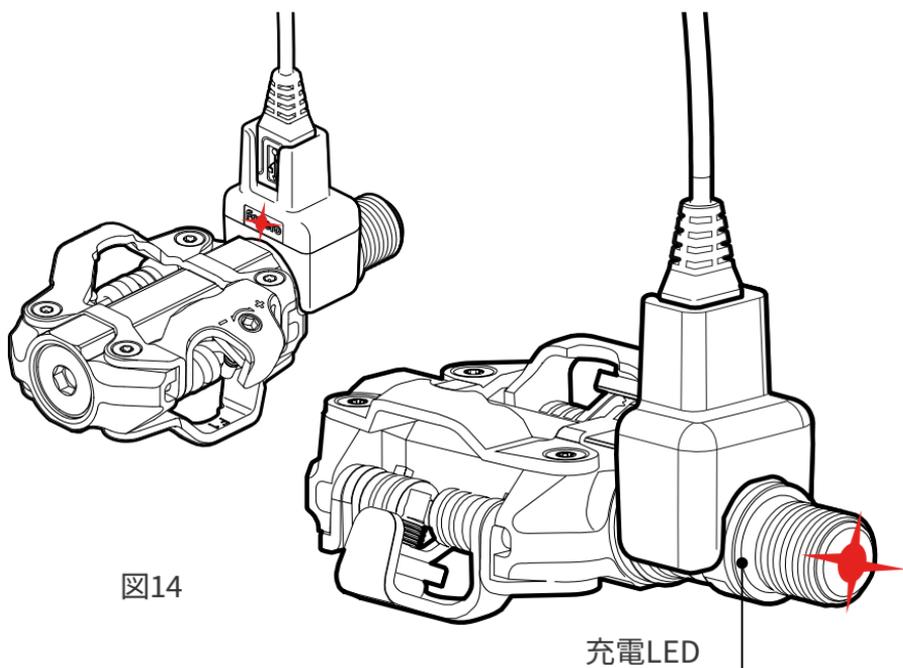
Assioma PRO MX センサーを手動で回転させるか、ペダルを踏み始めると自動的に電源が入り、5分間使用しないと自動的に電源が切れてバッテリーの持続時間を節約します。

- i 初めてAssioma PRO MXを使用するときは、コンセントに差し込んだ充電器に接続して電源を入れる必要があります。Favero Assiomaアプリで「トラベルモード」を終了する場合も同じ手順が必要です。

LEDが点滅していない場合は、17章 に示されているようにバッテリーを充電してください。

- ⚠ 製品の正しい機能を保護するため、充電前には必ず湿らせた布で、センサーとマグネットコネクタの両方にある金色の接点を清掃してください。

LEDの動作については、21章 をご覧ください。



12. アクティベーション

電力データの送信を開始するには、Assioma PRO MXを起動する必要があります。

アクティベーションは、App StoreとGoogle Play Storeで無料で入手できるFavero Assiomaアプリを通じて行なわれます。

また、アクティベーションによって、保証期間の開始と、将来のソフトウェア・アップデートへのアクセスも決定されます。



- i** お使いのOSに最も適したストアのQRコードをクリックまたはスキャンして、アプリをダウンロードしてください。

Favero Assiomaアプリを開き、手順に従ってペダルを検索し、デバイスに接続してアクティベートします。

Assioma PRO MXが検索ウィンドウに表示されない場合は、他のデバイス（サイクルコンピューターなど）とBluetooth接続されていないことを確認してください。

13. トレーニング機器とのペアリング

ペアリングとは、Assioma PRO MXとトレーニングデバイスをマッチングさせ、パワーデータの登録と読み込みができるようにする手続きです。

ANT+またはブルートゥースの通信技術を通じて行われます。

これによりAssioma PRO MXは、ANT+（PWRバイク・パワー・プロファイル）および/またはBluetooth（CPPプロファイル）を搭載したサイクルコンピューター/スマートウォッチと互換性があります。Assioma PRO MXは、Bluetooth経由でタブレットやスマートフォンとペアリングし、サードパーティ製のトレーニングアプリを使用することもできます。

すべてのANT+認証製品を確認するには、こちらをご覧ください：

<http://www.thisisant.com/directory>

（カテゴリ）で「サイクルコンピューター」を選択）

ANT+とBluetoothの両方で、左のセンサーをトレーニング・デバイスにペアリングするだけ。

*Assioma PRO MX-2（両側センサー付き）を使用する場合、左ペダルは自動的に右ペダルが収集したデータも送信します。

1. ANT+経由でAssioma PRO MXをペアリングする

ANT+通信チャンネル経由で表示できるデータは以下の通りです：パワー、ケイデンス、L/Rバランス（後者はAssioma PRO MX-2のみ）、トルク効率（TE）、ペダルスムーズネス（PS）、サイクリングダイナミクス（PCO、パワーフェーズ（PP）、ライディングポジション（RP）など。

ペアリングの手順は使用するデバイスによって異なりますが、本章の最後に一般的なガイドラインの概要を示します。その他の情報については、お使いのサイクルコンピュータの製造元のマニュアルを参照してください。

各Assiomaには、パッケージの外側およびFavero Assiomaアプリで確認できる5桁の識別番号（ANT+ ID）が割り当てられています。この番号は、ANT+経由でサイクルコンピュータとペアリング可能なすべてのデバイスの中で、左側のセンサーを識別するのに役立ちます。

- i** サイクルコンピュータメーカーから入手可能な最新のファームウェアバージョンをインストールすることをお勧めします。

2. Bluetooth (BLE)経由でのAssioma PRO MXのペアリング

ブルートゥース経由で表示できるデータは、パワー、ケイデンス、L/Rバランス（後者はAssioma PRO MX-2でのみ使用可能）。

Favero Assiomaアプリの "LIVE" セクションには、高度なトレーニングメトリクスが用意されています。これらは以下の通りです：トルク効率（TE）、ペダルスムーズネス（PS）、PCOやパワーフェーズ（PP）などのサイクリングダイナミクス。

Assioma PRO MXは、最大3台のBluetooth機器を同時に接続することができます。

Bluetoothペアリング時に問題が発生した場合は、周囲のBluetooth機器からペダルのペアリングを解除し、再度お試しください。

使用する機器によって手順は異なりますが、ここでは一般的なガイドラインを紹介します。

3. ANT+とBluetoothによるペアリングのガイドライン

トレーニング機器の電源が入っている必要があります。

1. 手動でクランクアームを回転させ、ペダルを起動します
2. トレーニングデバイスの「設定」セクションを開きます
3. センサー "と "新しいセンサーの追加 "を選択する"
4. 利用可能なデバイスのリストが表示されます
5. 左のセンサーを選択してペアリングを進めます。

14. クランクアーム長

クランクアームの長さはパワー計算に影響します。

従って、正しいクランクアームの長さが設定されている必要があります

ます：間違った値は、間違ったパワーデータになる可能性があります。

クランクアームの長さを正しく設定する方法については、ご使用のコンピュータのメーカーのマニュアルを参照してください。

クランクアームの長さをサイクルコンピューター/サードパーティ製アプリで設定できない場合は、Favero Assiomaアプリで直接設定してください。

- ◆ クランクアームの長さをFavero Assiomaアプリで設定せず、サイクルコンピューターで設定してください。

15. 手動および自動キャリブレーション

すべてのASSIOMA PRO MXのセンサーは、 -10°C から $+55^{\circ}\text{C}$ までの自動補正を含む周囲温度の変化など、どのような使用条件下でも精度を保証するために工場では校正されています。

Assioma PRO MXは、自動キャリブレーション機能（またはゼロオフセット）を備えています。これは、時間経過に伴うさまざまな側面を考慮した高度なアルゴリズムで、製品の定期的なキャリブレーションを数回実行します。

- ◆ ペダルに荷重がかからないように、自転車を直立させて（傾けないように）保管してください。
自動校正はクランク位置とは無関係。

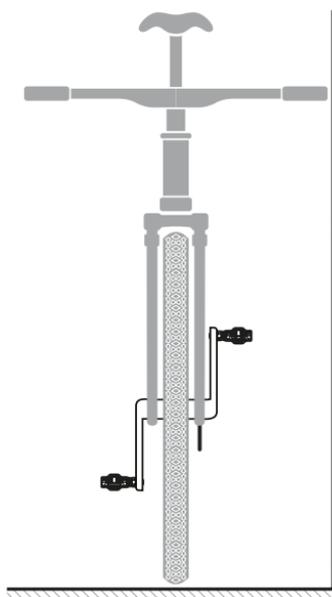
手動キャリブレーションが必要なのは、最初の取り付け時と、バイク間でAssioma PRO MXを交換するときだけです。

ただし、以下の手順に従って、Favero Assiomaアプリまたは互換性のあるサイクルコンピューターで手動キャリブレーションを実行し続けることは可能です。

そうすることで、前回の自動校正で登録済みの値が上書きされます。

それを実行する：

1. Assioma PRO MXを起動する
2. ペダルからシューズを離し、荷重がかかっていないことを確認する
3. バイクを直立させ（傾けない）、できるだけ動かないようにします。そうしないと、キャリブレーションを完了することができません
4. クランクアームを垂直にする
5. Favero Assiomaアプリまたはバイクコンピューターを開き、キャリブレーションを進めます。
Assioma PRO MXが見つからない場合は、他のデバイスとBluetoothで接続されていないことを確認してください。



キャリブレーション手順は、Favero

図15

Assiomaアプリで行うか、サイクルコンピューターで行うかによって異なります。

1. Favero Assiomaアプリについて

1. 「設定」を選択する
2. 「手動キャリブレーション」を選択する
3. 「キャリブレーション」を選択する
4. 手動校正が成功したことを確認する
5. エラーが発生した場合は、操作を繰り返します。

2. サイクルコンピューターでセンサー校正を行う（モデルによって異なる一般的な手順）

1. パワーセンサー・メニューにアクセスする
2. "Calibrate" または "Zero-offset" を選択する
3. 手動校正が正常に行われたことを確認します。通常、ディスプレイには確認メッセージまたは0（ゼロ）が表示されます
4. エラーが発生した場合は、操作を繰り返します。

- i** サイクルコンピューターの潜在的な制限により、サイクルコンピューターで他のANT+センサーが有効になっているがオンになっていない場合（心拍数モニターやケイデンスメーターなど）、サイクルコンピューターがそれらを探し続けるが見つからないため、手動キャリブレーションが遅くなったり、妨げられたりすることがあります。
いずれにせよ、サイクルコンピューターでそれらをオンにするか、一時的に無効にする必要があります。

16. 初めて使用する

Assioma PRO MXを最初に取り付けると、内部のセルフキャリブレーションが完了するまで、パワーデータはバイクコンピューターに送信されません。

Assioma PRO MXは、数十回ペダルを踏み込むと自動的にキャリブレーションを行います。この手順を早めるには、座って、一定のペースで、平坦な道でペダルを漕ぐことが望ましい。

Assioma PRO MXがデバイスにパワーデータを送信し始めると、セルフキャリブレーションが完了したと見なすことができます。



図16

17. バッテリー充電

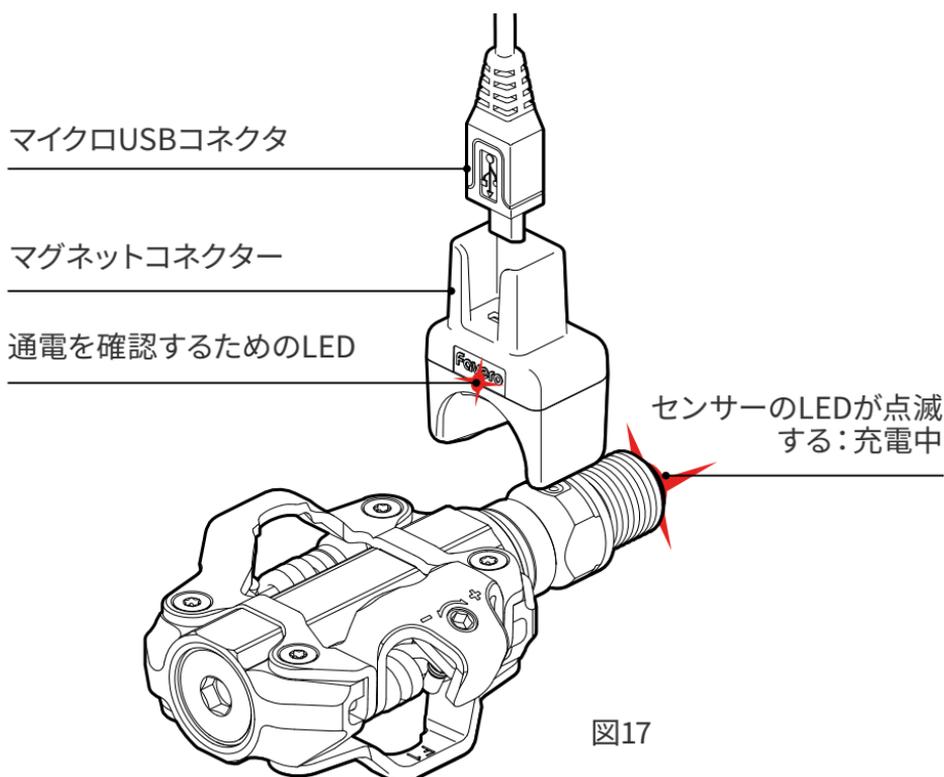
1. 充電に関する警告

i Assioma PRO MXは充電式リチウム電池を内蔵しており、最低60時間の使用が可能です。

! 製品を正しく機能させるため、充電前には必ず湿らせた布で、センサーとマグネットコネクターの両方にある金色の接点をクリーニングしてください。

LEDの動作の詳細については、以下を参照のこと21章。

! 長期間使用しない場合は、バッテリーの性能を維持するため、少なくとも3ヶ月に1度は充電することをお勧めします。ペダルの電池残量が少なくなると、サイクルコンピューターに警告が表示されます。この警告後のバッテリー残量は約8時間です。



2. 充電手順

バッテリーを充電するには、標準的なUSB-A充電器または一般的なパワーバンクが必要です。

パワーバンクによっては、Assioma PRO MXが必要とする最低充電電圧よりも高い電圧が設定されている場合、バッテリーを完全に充電できないことがあります。

Assioma PRO MXを充電するには、図のようにマグネットコネクターをソケットに差し込んだ充電器に差し込み、マグネットの端をペダルにクリップしてとめます。

! 製品を正しく機能させるため、充電前には必ず湿らせた布で、センサーとマグネットコネクターの両方にある金色の接点をクリーニングしてください。

LEDの動作について詳しくは、21章をご覧ください。

センサーのLEDは、充電中ずっと点灯し続けます。充電が完了する

と、LEDが0.5秒ごとに点滅を始めます。

バッテリーが消耗している場合の充電時間は約4時間です。

- ◆ 推奨温度+10°C~+45°Cの環境で充電してください。この範囲外では、バッテリーの機能を維持するために充電がブロックされることがあります。

18. 片側から両側へ

Assioma PRO MX-1 左脚のみの出力を測定し、それを2倍して総合的なパワーデータを読み取る。

なお、片側パワーメーターから両側パワーメーターに変更するには、右側パワーメーター（アップグレードキット）を購入することで両側測定（**Assioma PRO MX-2**）に変更することが可能です。

Assioma PRO MX-1をMX-2に変換するには、上記の製品を購入したら、Favero Assiomaアプリを開き、「設定」-「片側から両側へ」を選択する必要があります。

19. ペダルの取り外し

- ◆ ペダルを取り外すには、15 mm のオープンエンドレンチを使用します：

- ・ 左側のペダルを時計回りに緩める（ペダルを真横からみて）
- ・ 右側ペダルのネジを反時計回りに緩めます（ペダルの向きに注意）

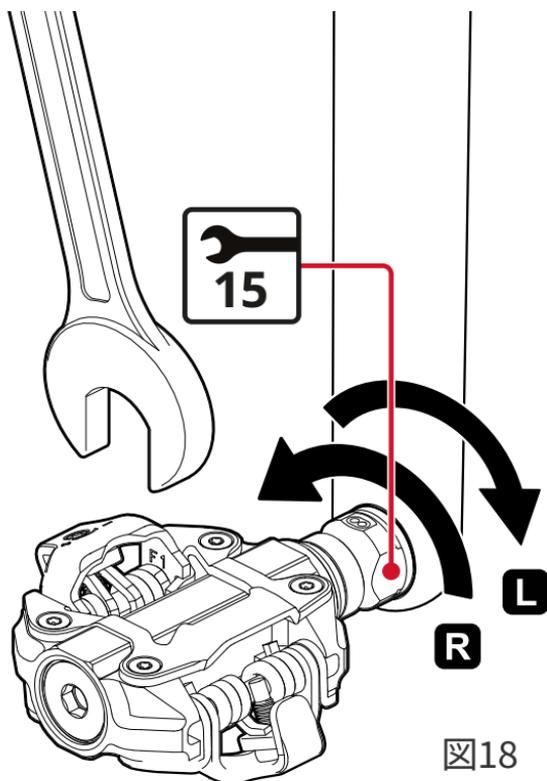
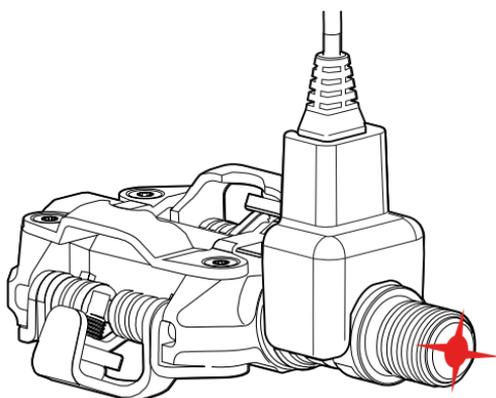


図18

20. ペダルの再装着 (バイク間で交換する)

1. 8章 で示すようにペダルを取り付ける
2. 14章 を確認してクランクアームの長さを正しく設定する
3. 15章 の手順で手動キャリブレーションを実行します
4. ペダルを踏み始める。16章 で説明した通り、この製品には初期自己校正が必要で、それは数十回のペダルストロークの間に行われます。
この行程を早めるためには、一定のペースで、平坦な道を、座ってペダルを漕ぐことをお勧めします。

21. センサーのLED動作



| | |
|-----------------|--|
| 3秒間の高速連続点滅 | Assioma PRO MXが起動している |
| 3秒ごとの短い点滅 | Assioma PRO MXの電源が入っている |
| 安定している | バッテリー充電中 |
| 0.5秒ごとに短い点滅 | バッテリー充電完了 |
| 毎秒2回のフラッシュ | 関連センサーの検索 |
| ペダリング中にLEDが自動消灯 | ペダリング中はLEDが消灯します。 ペダリングを止めると、LEDは再び点滅を始めます。 |

22. サービス

製品を使用する前に、以下の取扱説明書および箱の中に入っている保証書と安全説明書をよくお読みください。

1. 一般チェック

-  製品が正しく機能し、スピンドルの緩みによる事故を避けるため、スピンドルの締め付けが30~40Nmのトルクで行われているか、定期的に、あるいは走行前に点検することをお勧めします。

毎回走行前に、エンドキャップとスクリーキャップの締め付けトルクがそれぞれ4~6Nmと5~7Nmであることを確認してください。23章 を参照。

2. クリーニング

Assioma PRO MXは湿らせた布で拭いてください。

ガソリン、軽油、ガソリンの副産物全般、アルコール、工業用脱脂剤、万能脱脂剤など、刺激の強い化学薬品は使用しないでください。

⚠ 高圧洗浄機は使用しないでください。

3. グリスアップ

定期的にスピンドルにグリスを塗布し、長期間にわたって性能を維持します。

製品同梱のグリスアップ用工具キットを必ず使用してください。

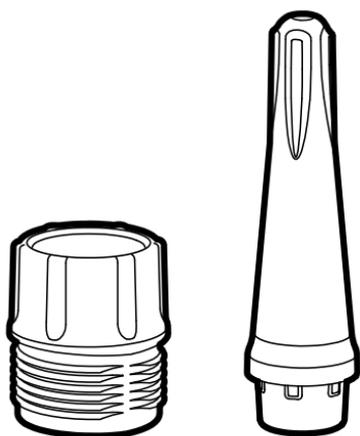


図19

このプロセスを行うために必要なすべての情報は以下のリンクにある専用ガイドを参照してください。

<https://cycling.favero.com/assiomapromx/manuals>

23. 予備部品

スペアパーツの詳細については、ウェブサイト <https://cycling.favero.com> のショップをご覧ください

構成部品の分解図

ペダル本体:

左キット PRO MX

Art.773-10-20

- 1x 左ペダル本体
- 1x エンドキャップ
- 1x スクリューキャップ (黒)
- 1x オイルシール
- 1x 軸ワッシャ
- 1x グリースキット工具

右キット PRO MX

Art.773-10-21

- 1x 右ペダル本体
- 1x エンドキャップ
- 1x スクリューキャップ (赤)
- 1x オイルシール
- 1x 軸ワッシャ
- 1x グリースキット工具

リングセット:

Art.773-00-38

- 2x メタルレッドリング
- 1x ブッシュのみ
- Assioma PRO MX-1 用。

リペアキット:

Art.773-00-50

- 2x エンドキャップ
- 1x スクリューキャップ (赤)
- 1x スクリューキャップ (黒)
- 2x アクスルワッシャー
- 2x オイルシール
- 4x ワッシャー
- 1x グリースツールキット
- 1x リングセット

ワッシャーセット:

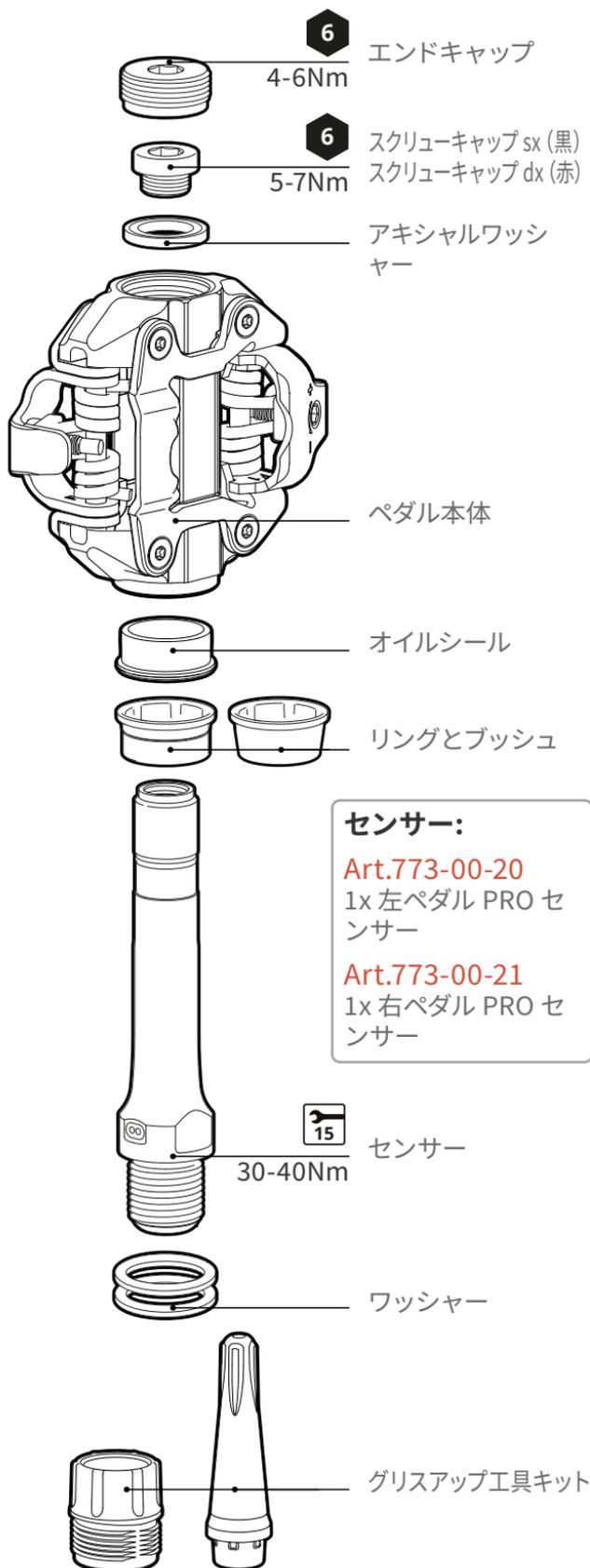
Art.773-00-36

- 4x ワッシャ

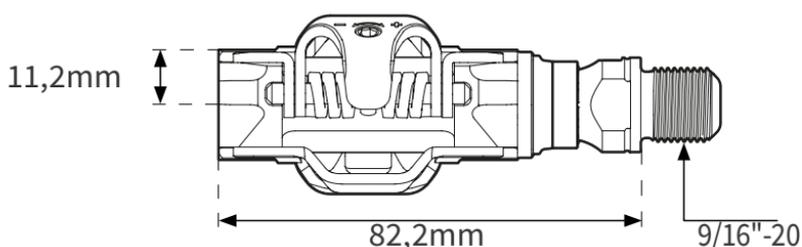
グリスアップ用工具キット:

Art.773-00-37

- グリース工程用プラスチック工具



24. スタックの高さ



25. 技術的特徴

| | |
|---------------------|--|
| 製品コード: | ASSIOMA PRO MX-2(Art.773-10-02) 、両側 パワーセンサー ASSIOMA PRO MX-1(Art.773-10-01) 、パワー センサーは左側のみ |
| 送信データ: | ANT+、Bluetooth (サイクルコンピュータ) 、Favero Assiomaアプリ <ul style="list-style-type: none">• パワー (ワット)• ケイデンス (rpm)• L/Rバランス (Assioma PRO MX-2の み) ANT+ & Favero Assiomaアプリ <ul style="list-style-type: none">• プラットフォーム・センター・オフセッ ト (PCO)• パワーフェーズ (PP)• トルク効率 (TE)• ペダルの滑らかさ (PS)• ライダーポジション (RP) - Favero Assiomaアプリでの表示なし |
| 無線プロトコル: | ANT+ PWR (PO) プロファイル Bluetooth v4.2 周波数 2402-2480 MHz/RFパワー 最大 1.4dBm EIRP |
| Bluetooth接続: | 同時に3台まで |
| パワー: | 0 - 3000 W |
| ケイデンス: | 10 - 250 rpm |
| パワー測定精度: | ± 1% |
| ジャイロスコープ: | 瞬時の角速度変動を考慮した積分値 |
| ケイデンスセンサー: | 内蔵一体型 |
| 内蔵バッテリー: | 充電式リチウムバッテリー、公称電圧 4.2Vdc、少なくとも60時間動作 |
| センサー付きペダル片側 重量: | 191,4 g |
| センサーなしのペダル片 側重量: | 191,2 g |

| | |
|---------------|--|
| スタックハイト: | 11,2 mm |
| ペダル軸の材質: | AISI 630 ステンレス鋼 |
| ベアリング: | 2x ニードルローラー (動荷重 > 400kg/各ニードルローラー) 1x テクノポリマー製軸座金 |
| アックスルのネジ規格: | 9/16"-20 tpi |
| 動作温度: | -10 / +55 °C |
| バッテリーの推奨充電温度: | +10 / +45 °C |
| 保護等級: | IP67 (屋内/屋外) 対応 |
| 適合クリート: | <ul style="list-style-type: none"> 互換性のあるクリート (Art.773-00-62) シマノ® SM-SH51 オリジナルクリート |
| 最大乗者重量: | 120 Kg ¹ |
| 保証期間: | 2年 |
| パワーメーター: | F-PM2センサーをベースに製造 |
| 内蔵バッテリー充電器入力: | 5Vdc 最大100mA |

¹この製品は、明確に指定された重量を超えないように設計されています。ここに指定された重量制限を超える人は、自己の責任において本製品を使用するものとします。

本製品はANT+認証を受けており、ANT+仕様に準拠しています：

www.thisisant.com/directory



Bluetooth™

26. ファヴェロ・エレクトロニクス

Assioma PRO MXは、イタリアのFavero Electronics社により、厳格な品質・安全基準に基づき、高度な資格を持つスタッフにより設計・製造・組み立てが行われています。

詳しくはこちらのページをご覧ください：

<https://cycling.favero.com/it/company>

ファヴェロ・エレクトロニクス社

Via R. Lombardi 64 - 31030 Arcade TV | イタリア

P.Iva: 04703130262 | レア: TV371603 | BattG: DE21721389 資
本金: € 100.000,00 i.v.

27. 保証

製品保証に関するすべての情報は、製品箱の中に入っている保証および安全マニュアルに記載されているか、ウェブサイトcycling.favero.comからダウンロードできます。

28. 著作権

2024年著作権。無断転載を禁じます。

Favero Electronics の書面による明示的な同意がない限り、本マニュアルの全部または一部を複製することはできません。

製造者は、個人または団体に通知する義務を負うことなく、本製品および本マニュアルを改良または変更する権利を留保します。Assioma®はFavero Electronicsの登録商標です。

Shimano®、SPD®、およびAssioma®を除く本書に記載されているその他のブランドは、それぞれの所有者に帰属します。これらの使用は、これらのブランドに関連する製品およびサービスの説明に限定されます。この名義使用は、商標権者の権利を損なったり、低下させたりする意図はない。



Favero Assiomaアプリをダウンロード

